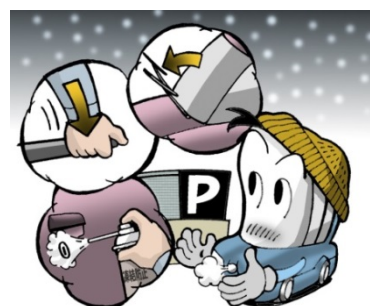


冬道は、路面の凍結や積雪だけでなく、降雪による視野の制限など、事故が起こり易い環境が多くなります。冬場に運転する際には、車の運転方法だけではなく、路面が凍結しやすい場所を事前に知っておくことも重要といえます。

冬道の特徴と安全に運転する方法をまとめましたので、安全運転にお役立てください。



## 1. 冬道の特徴

冬道では、雪や氷がなくても、路面が凍って滑りやすくなっていることが多くあります。こうした場合でもあわてないように常に道路状況に気を配ることが必要です。

### 路面が凍結しやすい場所

#### ■橋の上や陸橋

橋の下から道路の熱が逃げていき、温度差が出るため路面が凍結しやすい

#### ■トンネルの出入り口付近

気温が低いため、路面が凍結しやすい

#### ■交差点付近

停止・発進を繰り返すことにより、圧雪路面が磨かれてツルツルに

#### ■山間部やビルの陰などの日陰になっているところ

日陰で氷が解けにくい



上記以外の場所でも、気温の下がる朝晩や夜の走行は、昼間と比べられないほど多くの危険が潜んでいます。昼間は濡れているだけの路面も、夜には路面が凍結しているおそれがありますから注意が必要です。



## 2. 安全に運転する方法

ゆっくり、慎重に、十分にスピードを抑えるよう心がけることが大切です。そうすれば雪道や路面凍結でも危険を抑えることができます。また、フロントガラスの凍結や曇ったままの走行は視界の確保が不十分だったり、屋根に雪を載せたままの走行は雪が塊となり他車の運行を妨害したりしますので、このような走行は避けましょう。

### ■発進はゆっくりと

オートマチック車では、ブレーキペダルから足を離すとクルマが動き出す「クリープ現象」を活用して、ゆっくり発進します。マニュアル車であれば2速発進が望ましいようです。1速で発進するのであればエンジンの回転数をあまり上げずにゆっくりとクラッチをつなぐなど慎重な運転が必要です。

### ■車間距離

車が停止する距離は、積雪路面では、乾燥した道路に比べて3倍以上になります。運転中の車間距離は、普段の3倍以上取ることが大切です。

### ■交差点周辺

多くの車が停止・発進を繰り返す交差点では、圧雪路面が磨かれてツルツルになっていることがあります。雪道以上に滑るのでさらなる注意が必要です。また、交差点では早めのブレーキ動作を心がけることも大切です。

### ■カーブへの進入

カーブに入る手前の直線で十分に減速します。カーブの途中でブレーキングやシフトダウンを行うと、タイヤがロックしてカーブの外に飛び出すおそれがあります。凍結路面ではスローイン・スローアウトが基本です。

### ■橋の上や陸橋、トンネルの出入り口付近

他の場所より気温が低いいため、路面が凍結しやすく、大変危険です、このような場所では、手前で十分にスピードを落とし、慎重に走行してください。

### ■小さくて見えにくい凹凸に注意

小さい凹凸でも、車輪にさまざまな方向から力が加わり、急に横滑りやスピンに見舞われることがあります。スピードを落とし路面の状況を慎重に見極めると共に、タイヤがとられた場合を考えてしっかりとハンドルを握っておきましょう。



SOMPO ホールディングス  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、  
「お・も・い・や・り」のある運転を！  
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同